

# 目標設定シート

## (2009年度)

### 部局と評価項目・要素

対象部局	法学研究科
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

### ○2009年度からの目標

1. 研究者および高度専門職業人の着実な養成を実現するために入試制度を見直し、学位取得プロセス、学位審査基準を明確化し、公表する。

#### 【本研究科の理念・目的】

1 前期課程：ソーシャル・アプローチの理念に基づき、広く深い社会的視野と教養に根ざした法学政治学の研究を極めることを通じ、法と政治の基礎にある自由と人権、正義を重んじ、社会に奉仕する精神に富む、高度の専門的能力を持つ有意な人材を育成することを目的とする。

2 後期課程：ソーシャル・アプローチの理念に基づき、自立して研究活動を行える高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を身につけ、またその研究能力を生かした高度に専門的な業務に従事することのできる能力を養うことを目的とする。

### ○指標

- 「定員充足率」  
「博士前期課程エキスパートコース修了者の就職状況（就職決定率と就職決定先）」  
「大学院学生対象の授業評価実施回数」  
「大学院入試説明会の開催時期と開催回数」  
「大学院広報掲載雑誌数・パンフレット作成の有無」